

「久見区」

- 1 代表者の氏名、役職
つくだ たつみ
 佃 達位 区長
- 2 所在地
 島根県隠岐郡隠岐の島町くみ久見
- 3 地区名及び規模、性格、地域区分
 久見地区、集落単位
 地縁的な集団、山間農業地域、沿岸漁業地域



〔久見神楽〕

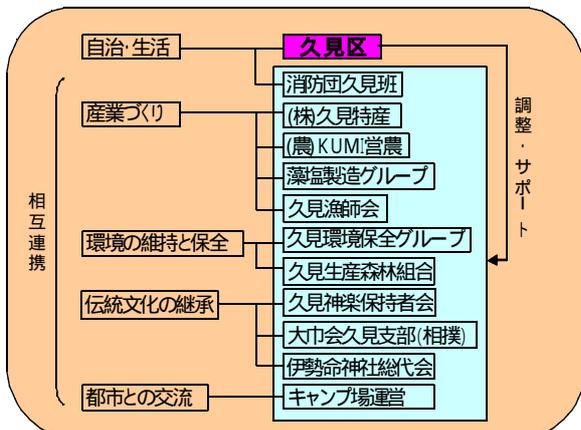
【むらづくりの経緯】

久見地区は、隠岐の島町の北西端で三方を山に囲まれた集落である。町の中心部から約20km 離れ、公共交通機関もなく生活環境が厳しい地域である。

高度経済成長に伴う昭和40年前後の出稼ぎや島外への若者の流出等の影響により、他地区に先駆けて高齢化が進んだ。また、62年には小学校が廃校となり、昭和の終わり頃には高齢者中心の集落となり集落崩壊の危機が迫っていた。

このような中、集落に残った青壮年は、一丸になり久見区の活動や伝統文化の継承等に主体的に取り組み、女性達は、"単なる生産"から、"地域の資源に価値を付けて売る"、いわゆる6次産業化に他地区に先駆け取り組んだ。小学校の跡地利用については久見区を中心に話し合いが行われ、これからのむらづくりの中核施設として「多目的集落センター」が建設された。この施設を足場として、集落の生活・経済基盤の整備に向けた地元調整や地域資源を活用したむらづくり活動に繋げていった。

むらづくりの推進体制



地区の概要

総世帯数	70 戸	農業生産概要
総人口	137人	
販売農家戸数	8 戸	
主業農家	1 戸	
準主業農家	3 戸	
副業的農家	4 戸	水稲 8ha (8百万円) 野菜類 8ha (1百万円) 和牛 9頭 (3百万円)
耕地面積	20 ha	
田 8ha、畑 12ha		
販売農家1戸当り耕地面積 2.5 ha		
認定農業者	1人	
漁業個人経営体	17 戸	漁業生産概要
専業	1 戸	
兼業(漁業が主)	- 戸	
兼業(漁業が従)	16 戸	
		サイアヒ 4.5t (4百万円) ビコ 1.6t (2百万円)

久見のむらづくりは、「誇りの持てる暮らしやすい集落」をコンセプトに、「自治活動」、「生活の場づくり」、「産業づくり」、「環境の維持と保全」、「伝統文化の継承」、「都市との交流」を柱とし、関係する組織・集団が相互に関連・連携しながら行われており、その中心となるのは自治活動の主体である「久見区」であり、全戸が参画している。「久見区」は、住民の意向を集約しながら、行政やJA、JFと連携し、むらづくり活動を展開中である。

【むらづくり活動の特徴】

～ 自治組織を中心としたむらづくり ～

久見集落は、地域の人々が長くこの地域に住みながら地域を大切に守ってきている。全戸が参加する自治組織の「久見区」が中心となり、「誇りの持てる暮らしやすい集落」にしようと活動を展開している。住民の意向を集約しながら集落排水、河川、道路等の生活・経済基盤を整備し、その上で、様々な活動が行われている。小さな地域が自発的・主体的に力を出し合って、地域全体の地域力を発揮している。



〔株〕久見特産

～ 足元の地域資源を活用したむらづくり ～

厳しい状況の中、足元にある資源を最大限に活用して農業、漁業、加工品づくり等の産業振興を図っている。



農業では非常に面積の小さい圃場が多い中、集落営農を法人化して取り組み、漁業はサザエ・アワビの計画出荷による有利販売、「カナギ漁」の伝承による担い手育成に取り組んでいる。加工については、女性の頑張りでも農産と水産部門が一つになり様々な加工品を作り、法人化により株式会社としている。また、藻塩製造についても、島内他地域における、藻塩を活用した藻塩米、清酒製造にまで広がりを見せている。更に、林業については生産森林組合により植林活動等を行い、森林機能の保全と海づくりを行っている。小さな集落にも関わらず、農業、林業、加工の3分野で法人組織を立ち上げ、今後への体制を整える等、積極的な取組を行っている。また、キャンプ場も整備され、都市との交流も行われている。

～ 伝統文化の継承 ～

「久見神楽」を始め、「古典相撲」、「星祭り」、神社の祭祀等の伝統行事を、住民の手で絶やすことなく守り続けている。伊勢命神社を中心とした住民の「心」の絆が今に受け継がれており、地域に対する誇りと連帯感の醸成に繋がっている。



〔カナギ漁の伝承〕



〔隠岐古典相撲〕



〔星祭り〕

「久見区」のむらづくりは、集落崩壊の危機を前に、地区に残った後継者や女性達が、足元にある地域資源の積極的な掘り起こしに立ち上がり、自治組織の「久見区」を中心に様々な組織が連携して活動してきた。「誇りの持てる暮らしやすい集落」を目指して、自治活動、生活の場づくり、産業づくり、環境の維持と保全、伝統文化の継承、都市との交流に地域全体で取り組んでいる。地域への誇りを持ち、住民全体が支え合っ、自然体で、生き生きとしたむらづくり活動を展開している。